

2017（平成 29）年度
学校関係者評価 報告書

学校法人 東杜学園
国際マルチビジネス専門学校

2017（平成 29）年度 学校関係者評価報告書

学校法人東杜学園 国際マルチビジネス専門学校では、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について現状を点検し、その改善を図るため自己点検・自己評価を実施し「2017（平成 29）年度自己点検評価報告書」を取りまとめ、当校ホームページに公開致しました。

また、学校関係者評価委員会を設置し、本校に関連する業界・企業の皆様より当校の学校教育及び運営に対しご意見やご指導を頂きました。頂戴致しましたご意見等につきましては「2017（平成 29）年度学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を今後の学校運営に反映させ、教職員一同社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質のさらなる向上を目指して参る所存です。

関係者の皆様には、今後共なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2018（平成 30）年 10 月

学校法人 東杜学園

国際マルチビジネス専門学校

校 長 野口 和江

【学校関係者評価委員会】

開催日時 : 【第 1 回】平成 30 年 9 月 4 日（火）14：10～15：20

国際マルチビジネス専門学校 2 階 ホテルシミュレーション総合実習室

【第 2 回】平成 30 年 10 月 2 日（火）14：10～14：50

国際マルチビジネス専門学校 2 階 ホテルシミュレーション総合実習室

学校関係者評価委員（敬省略）

高木 友子 氏 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 事務局長

大久保毅彦 氏 株式会社 JTB 法人事業本部 事業推進部 旅行事業推進担当部長

齋藤 康紀 氏 仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台 宴会課長

小笠原 均 氏 有限会社花嫁の千登勢 取締役副社長

本村 陽 氏 株式会社日比谷花壇 バンケット事業統括部

北日本ブロックゼネラルマネージャー

事務局

野口 友子 学校法人 東杜学園 理事長

野口 和江 国際マルチビジネス専門学校 校長

熊谷 文志 国際マルチビジネス専門学校 教務部

伊五澤 和男 国際マルチビジネス専門学校 教務部

吾妻 祐子 国際マルチビジネス専門学校 教務部（書記）
三橋 英一 国際マルチビジネス専門学校 広報部
島村 香奈子 国際マルチビジネス専門学校 広報部（書記）

尚、第1回委員会については高木委員が台風による交通機関運休のため欠席、よって後日に説明、ご意見を頂戴した。

【学校関係者評価について】

2017（平成29）年度自己評価報告について説明をし、各委員より意見を頂戴した。

（1）教育理念・目標

「誠実さ・謙虚さ・思いやり」を基軸とした「人間力」の育成、社会人基礎力「考えさせ、考え抜く力・一歩踏み出す積極性や組織力」の涵養に加え、「自ら考え、発想し、動く」といったAI化を意識した脱マニュアル化の必要性について意見を頂戴した。

（2）学校運営

特に委員会からの意見や質問はなかった。

（3）教育活動

授業評価の時期及び内容についてご質問があった。

年1回10項目5段階にて評価し、統計処理の上各講師にフィードバックする旨回答した。

（4）学修成果

卒業後のキャリア形成についてご質問があり、卒業後の就職（転職）状況についてより定期的な確認を検討する旨回答された。

（5）学生支援

学生からの相談体制についてご質問があり、内容に応じて①担任教員、②就職相談教員、③キャリアカウンセラー等が対面対応を行っていることを回答した。

（6）教育環境

防災対策についてご質問があり、飲料水や食糧等緊急時に対応できるべく十分な備蓄はされており、さまざまな状況を想定して訓練が定期的かつ年に複数回実施する方向である旨を回答した。

（7）学生受け入れ募集

「教育成果を十分に伝えられているか」の問いに対し、本校は学生それぞれの状況を踏まえた細やかな対応を信条とし行っているが、より本校が強みとする「人間形成、人間教育」を高校生へ伝える方法をさらに検討することを回答した。

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

特に委員会からの意見、質問はなかった。

(11) 国際交流

本格的な留学生受入を開始した年度であることから、学習、生活及び就職の各指導における状況の説明やまた問題点についてご質問があった。在籍管理を適切に行った結果、優良校の認定を頂戴したことが報告された。

また、現在の出願状況や在仙の専門学校の状況について質問があった。

3.課題

意見のあった内容を学内で検討し、改善案をまとめ2019年度以降の改善を目指す。

以上

平成29年度 財務諸表

資金収支計算書

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月 31日まで

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	162,725	人件費支出	80,521
手数料収入	1,153	教育研究経費支出	69,204
寄付金収入	0	管理経費支出	55,632
補助金	0	施設関係支出	9,990
附属収入・収益事業収入	30,715	設備関係支出	5,156
受取利息	136	資産運用支出	225,000
雑収入	265	その他の支出	24,003
前受金収入	101,855		
その他の収入	238,184		
資金収入調整勘定	△ 116,574	資金支出調整勘定	△ 24,466
前年度繰越支払資金	231,029	次年度繰越支払資金	204,448
収入の部 合計	649,488	支出の部 合計	649,488

事業活動収支計算書

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月 31日まで

(単位：千円)

教育活動収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	162,725	人件費支出	80,521
手数料	1,153	教育研究経費支出	81,337
寄付金	0	管理経費支出	57,141
補助金	0		
付随事業収入	30,715		
雑収入	265		
教育活動収入計	194,858	教育活動支出計	218,999
教育活動収支差額			△ 24,141
教育活動外収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息	136		
その他の教育活動外収入	0		
教育活動外収入計	136	教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額			136
経常収支差額			△ 24,005
特別収支			
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
特別収入計	0	特別支出計	0
特別収支差額			0
基本金組入前当年度収支差額			△ 24,005
基本金組入額合計			△ 9,835
当年度収支差額			△ 33,841
前年度繰越収支差額			110,914
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			77,073

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位：千円)

資産の部	負債の部
固定資産 545,507	固定負債 3,010
	流動負債 114,755
	負債の部 合計 117,765
流動資産 213,122	純資産の部
	第1号基本金 563,791
	繰越収支差額 77,073
	純資産の部 合計 640,864
資産の合計 758,629	負債及び純資産の部合計 758,629